

四国4県より集い、森林整備（伐採作業）体験を行います！

～吉野川上下流交流大会を三好市で開催します。～

「吉野川上下流交流大会」は、吉野川の水源地域と受益地域の健全な交流を図ることを目的として、毎年開催しているもので、今年で20回目となります。

四国4県より約100名の参加者が集い、森林整備（伐採作業）の体験等を行います。この整備により、吉野川上流地域の森林の成長を促します。

森林整備の他、祖谷川の散策及び池田ダム見学等も実施します。

なお、当日は、三好市が主催する行事で『祖谷平家まつり』がかずら橋イベント広場をメイン会場として行われます。

1. 日時・場所

- ・森林整備（伐採作業）体験 10:00～ 落合集落展望所（東祖谷中上）
- ・祖谷川散策 他 12:50～ かずら橋イベント広場（西祖谷山村善徳）
- ・池田ダム見学 15:40～ 池田ダム（三好市池田町西山尻谷）

平成28年10月23日（日）10時00分～16時10分

場所：徳島県三好市（落合集落展望所、かずら橋イベント広場、池田ダム 外）

- ・開会式は『伐採作業箇所（落合集落展望所）』で10時00分より行います。

2. 主催

四国三郎（吉野川）ふれあい会議

【構成】

いの町、大川村、土佐町、本山町、大豊町、三好市、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

国土交通省：四国地方整備局河川部、四国山地砂防事務所、吉野川ダム統合管理事務所

水資源機構：吉野川本部、池田総合管理所

【協力・指導】

三好西部森林組合

3. その他

詳細は、別紙のとおり

降雨等の気象により中止する場合がありますので、

開催の有無につきましては、以下の問い合わせ先に確認願います。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.3 美しい自然とおもてなしの心による「祖国」観光活性化プロジェクト】に該当します。

平成28年10月14日

【お問い合わせ先】

四国三郎（吉野川）ふれあい会議

事務局：国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

◎調査課長：中山 正一（内線 351）

計画係長：黒木 裕次（内線 352）

TEL：0883-72-3000（代）

◎：主な問い合わせ先

第20回

吉野川上下流交流大会

開催地：徳島県三好市

吉野川の水源地域と受益地域の健全な交流を図ることを目的に「第20回吉野川上下流交流大会」を三好市において開催します。

四国4県より一般公募による参加者の皆様が三好市に集い、森林整備（伐採作業）の体験等を行います。この整備により、吉野川上流域の山林の成長を促します。森林整備のほか、池田ダム見学等も実施します。

日時：平成28年10月23日（日）10時00分～16時10分

場所：徳島県三好市

*開会式は伐採作業箇所（落合集落展望所）で10時00分より行います。

スケジュール

時間	内容
9:50～	集合・受付開始 (場所：落合集落展望所)
10:00～10:20	開会式 ○主催者代表挨拶 ・三好市長 ・四国地方整備局 河川情報管理官 ○記念撮影 (場所：落合集落展望所)
10:20～11:50	森林整備（伐採作業）体験 ○作業手順や道具取り扱いの説明 ○伐採作業の体験（間伐、コースター作製） (場所：落合集落展望所)
11:50～12:50	バスにて移動（落合集落展望所 から かずら橋イベント広場 へ）
12:50～14:40	祖谷川散策 他 (場所：かずら橋イベント広場周辺) ・昼食（レストラン、出店あり） ・祖谷平家まつり ・祖谷のかずら橋 ・びわの滝
14:40～15:40	バスにて移動（かずら橋イベント広場 から 池田ダム へ）
15:40～16:10	池田ダム見学 ・池田ダムの見学 (場所：池田ダム)
16:10	解散

主催 四国三郎（吉野川）ふれあい会議

いの町、大川村、土佐町、本山町、大豊町、三好市
徳島県、香川県、愛媛県、高知県

国土交通省：四国地方整備局河川部、四国山地砂防事務所、吉野川ダム統合管理事務所
水資源機構：関西・吉野川支社吉野川本部、池田総合管理所

[協力・指導]：三好西部森林組合

今までの吉野川上下流交流大会の様子



伐採作業の体験



伐採作業の体験



コースター作製



記念写真

祖谷川散策



祖谷のかずら橋



びわの滝



祖谷平家まつり

出典: <http://www.awanavi.jp>より



かずら橋イベント広場

池田ダム見学



池田ダム



池田ダム見学

四国三郎(吉野川)ふれあい会議 発足主旨

吉野川上流域(水源地域)では、吉野川総合開発により早明浦ダムを始めとする水資源開発施設が建設され、文字どおり「四国の命」としてかけがえのない役割を果たしております。

しかし、その水源地域では、産業振興や生活環境整備の遅れ、過疎・高齢化の進行等地域をとりまく社会情勢は年々厳しさを増してきております。

このような情勢の中、平成6年の大渇水を契機に水源地域の大切さが認識され、植樹などを通して水源地域と受益地域の交流が始まりました。

平成7年には、四国4県の知事等の参加による「早明浦ダム一万本植樹祭」、平成8年には「第1回 川の日 吉野川スポーツ交流大会」が実施されました。そのほか、香川・徳島両県による共同事業が取り組まれ、民間団体による交流も活発になってきております。

より良い水源地域を創っていくためには、受益地域と水源地域に係わる行政機関、民間機関、住民の方々共通認識に立ち、相互協力のもとに広域的な連携を積極的に講じていく必要があります。

そのため、水源地域の民間機関代表者、町村、国土交通省、四国4県及び水資源機構からなる「四国三郎(吉野川)ふれあい会議」を発足し、交流に関する意見交換、情報交換、企画等を行うことにより、今後の上下流交流(地域連動)を活発化させ、水源地域と受益地域の健全な交流を図ろうとするものです。

「四国三郎(吉野川)ふれあい会議」

○平成9年1月 発足

第20回 吉野川上下流交流大会

